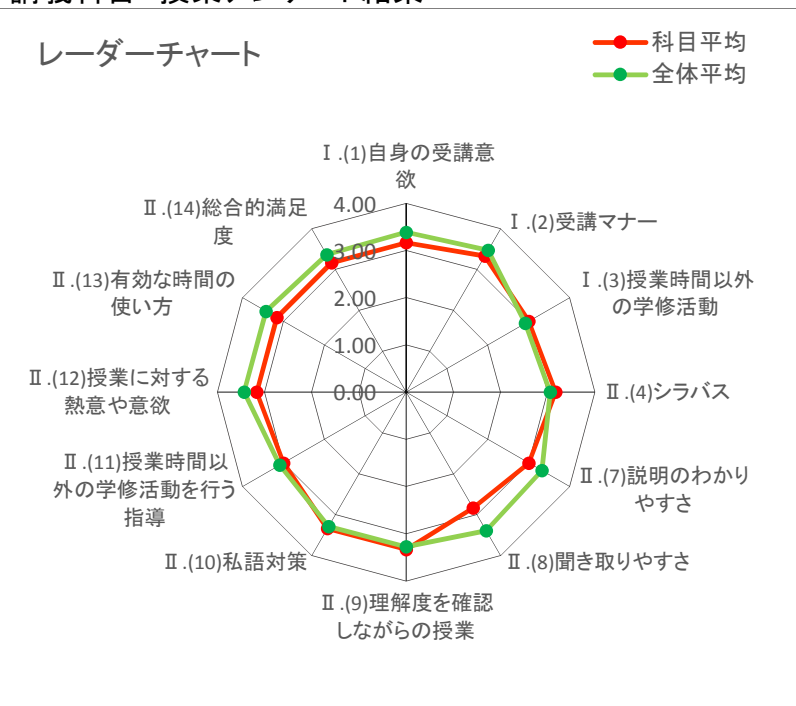
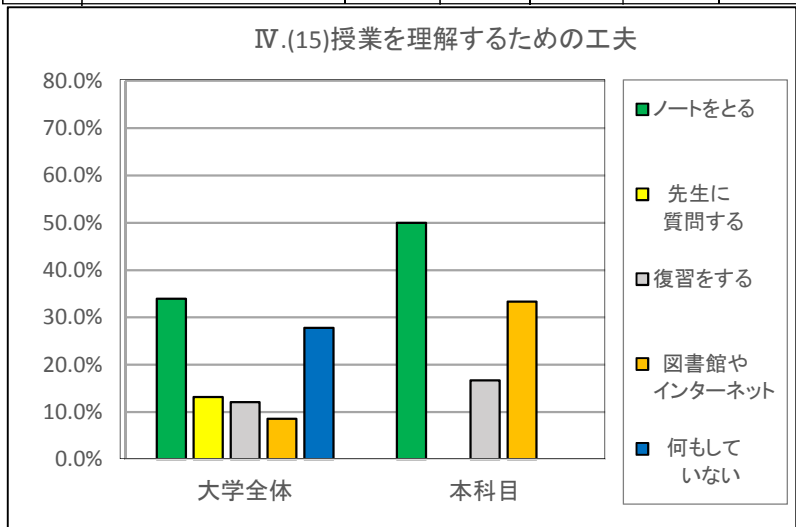


講義科目 授業アンケート結果



※レーダーチャートの平均は4段階評価 4(そう思う)、3(ややそう思う)、2.(あまりそう思わない)、1(そう思わない)

| 〈※複数選択可項目〉 | ノートをとる | 先生に質問する | 復習をする | 図書館やインターネット | 何もしていない |
|----------------------|--------|---------|-------|-------------|---------|
| IV.(15) 授業を理解するための工夫 | 50.0% | 0.0% | 16.7% | 33.3% | 0.0% |



アンケート結果に対する教員のフィードバックシート

| | |
|-------|-----------|
| 授業年度 | 2014年度 後期 |
| 時間割番号 | 44308 |
| 科目名 | 商法Ⅱ |
| 教員名 | |

①授業計画の達成度について

受講生が勉強しやすいように、授業計画にしたがい順番に講義している。特に、具体的な事件において、裁判所がどのような事実関係に対してどのような判断をしたのかということの理解を支援するために、レジュメおよび図を用いることでわかりやすく説明しているため、自ずと法律に親しみ理解することができ、難しさを感じさせないと思う。授業計画は、実質的にも達成できていると考える。

②授業の進め方について

教室は小さくないが大きな声で明瞭に発音し講義する。法律的側面から、事件の本質に迫り、具体的な法文の解釈適用を身につける練習をする。ときどき学生の様子を見て回ることがある。私語をする者は皆無といってもよい。授業に対する取り組みは、必ずしも熱心であるということとはできない。法理解釈に対する興味がないようである。数字としてもそれが表れているといえる。

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について

教える側としてはほぼ従来通りの方式である。学生の勉強に対する取り組みとして、自分で本を読み理解し書くということが非常に少ないのではないと思う。従来より変りない傾向であると推測する。しかし授業中にノートを取ることはまじめにやっているようであり、試験をするとだいたいノートをそのまま活用し解答できているようである。法律解釈に興味を持たせる工夫を試みたい。

| | 設問No | 科目平均 | 全体平均 |
|---------|---------|------|------|
| 受講姿勢 | I.(1) | 3.17 | 3.39 |
| | I.(2) | 3.33 | 3.47 |
| | I.(3) | 3.00 | 2.91 |
| 受講内容・方法 | II.(4) | 3.17 | 3.05 |
| | II.(5) | | |
| | II.(6) | | |
| | II.(7) | 3.00 | 3.32 |
| | II.(8) | 2.83 | 3.39 |
| | II.(9) | 3.33 | 3.27 |
| | II.(10) | 3.33 | 3.28 |
| | II.(11) | 3.00 | 3.09 |
| | II.(12) | 3.17 | 3.43 |
| | II.(13) | 3.17 | 3.43 |
| 満足度 | II.(14) | 3.17 | 3.36 |

| | 本科目平均 | 全体平均 |
|-------------|-------|------|
| 自身の受講姿勢 | 3.17 | 3.26 |
| I.(1)~(3) | | |
| 講義内容・方法 | 3.13 | 3.28 |
| II.(4)~(13) | | |
| 総合的満足度 | 3.17 | 3.36 |
| III.(14) | | |